

後期高齢者健康診査を受診すると何がわかるの？

基本的な健診の項目

検査項目		正常値（参考）	この検査で調べていること
身体計測	BMI(ボディ・マス・インデックス)	18.5～24.9	肥満度判定の目安となります。 $BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$ ※BMIは国際的な体格指数です。
血圧測定		収縮期血圧 130mmHg 未満 拡張期血圧 85mmHg 未満	血圧の状態を調べます。 高血圧 は動脈硬化の原因となるので注意が必要です。 ※1回の血圧測定で血圧が高かったからといって高血圧とはいえません。定期的にチェックをしていくことが必要です。
尿検査	蛋白	陰性（-）	腎臓などの異常を見つけるための検査です。
	潜血	陰性（-）	腎臓、尿管、膀胱、尿道などの異常を見つけるための検査です。
	糖	陰性（-）	糖尿病発見の手がかりとなります。
血中脂質検査	LDLコレステロール	60～119mg/dl 未満	動脈硬化について調べます。 ※LDLコレステロールが増加すると、血管壁にたまり、単独で動脈硬化を進行させます。
	HDLコレステロール	40～119mg/dl 以上	動脈硬化や心臓病について調べます。 ※血管に付着したコレステロールを運び去るのがHDLコレステロールです。
	中性脂肪	30～149mg/dl 未満	肥満や肝脂肪、動脈硬化の原因について調べます。

検査項目		正常値 (参考)	この検査で調べていること
肝機能検査	AST(GOT)	31u/l 未満	肝臓や心臓の異常を発見します。
	ALT(GPT)	31u/l 未満	
	γ-G T P (γ-G T)	51u/l 未満	肝臓病 (特にアルコール性肝障害) 発見の手がかりとなります。肝臓や胆道に異常があると数値が上昇してきます。
腎機能検査	血清クレアチニン	男性 1.0mg/dl 以下 女性 0.7mg/dl 以下	腎機能の異常を調べます。 (クレアチニンとは老廃物の一種で腎臓の機能が低下すると排泄できなくなります。)
血糖検査	空腹時血糖	血漿 100mg/dl 未満	糖尿病を発見するための検査です。 ※血糖は血液中のブドウ糖を示します。
	ヘモグロビンA1c検査 (NGSP)	5.6% 未満	糖尿病の検査として重要です。長期間の血糖コントロールの目安となります。

詳細な健診の検査 (医師の判断による)

検査項目		正常値 (参考)	この検査で調べていること
心電図検査			心臓の筋肉の異常、不整脈 (リズムの乱れ)、心臓肥大等がわかります。
貧血検査	赤血球数	男性 400~539万/mm ³ 女性 360~489万/mm ³	血液中の赤血球数を調べる検査です。貧血などの状態を調べます。
	血色素量	男性 13.1~16.6g/dl 女性 12.1~14.cg/dl	赤血球の酵素を運ぶたんぱく質の一種で、減少すると貧血等が疑われます。
	ヘマトクリット値	男性 38.5~48.9% 女性 35.5~43.9%	一定量の血液に含まれる血球の容積の割合を調べます。 減少すると貧血が疑われます。